

事故管理No.	事故発生日	曜日	発生時間	事故区分	地区名	営業所名	氏名	職種	年齢	勤続	損害程度（品目・負傷状況） （損害額）	休業見込 （実休業）	荷主・相手方		事故内容
													名称	本・支店、工場	

1	J8200023	2026/4/24	金	9:30	貨物	関西	京都	協力会社 乗務員	乗務	34	5年 0ヶ月	無停電電源装置 損傷 ※全損（300万円見込）	—		—	協力会社乗務員が納品先敷地内でキャスター付きの商品をパワーゲートで荷下ろし中、チルトロックレバーを戻し忘れてゲートが水平で止まらない状態で荷台からゲートに商品を移動、チルトロックが効いてないの でゲートが傾いて商品が転落、破損させた
	確認日	2026/5/12	火	確認者 （安全）		発生要因	①前日にチルトロックを解除したまま戻し忘れた ※パワーゲート（TGL）の始業前点検を実施していなかった ②目視だけでゲートの水平状態を確認、手でロック状態を確認しなかった ③ゲートに商品を載せる際、キャストストッパを出し忘れた						再発防止対策	① 操作前には必ずロックの状態（ロックの掛かり具合）を確認するよう協力会社へ指導 ・事故惹起後はパワーゲート（TGL）の始業前点検を実施、その結果を記録に残すよう指導 ・点検記録は当社の書式を提供、点検を実施した結果を当社でも確認した 今後も定期的（四半期）に点検の実施状況を確認していく ② ゲートの開ボタンをストップするまで押し、手で水平ロック状態を確認するよう協力会社へ指導 ③ キャスタストッパは商品積載前に作動状態（ストッパの起立）に問題ないか確認するよう協力会社へ指導 ・当該協力会社責任者へパワーゲートに乗務するドライバー（2名）に対し、パワーゲートに関する再教育を要請、その結果を当社でも確認した 今後も定期的（四半期）に教育実施状況を確認していく		